

STAGE+を楽しむ(321)(HP 収載)
—プロコフィエフのピアノ協奏曲第 2 番—

1. 始めに

前報(320)に引き続き、STAGE+のチョ・ソンジンのプロコフィエフのピアノ協奏曲第 2 番の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(320)に引き続きチョ・ソンジンのプロコフィエフのピアノ協奏曲第 2 番を選びました。

パッパノーとチョ・ソンジンが挑むプロコフィエフのピアノ協奏曲第 2 番
ロンドン交響楽団

収録日: 2025 年 9 月 18 日

ロンドン交響楽団の首席指揮者として、2 シーズン目に突入したアントニオ・パッパノー。同楽団の 2025/26 年シーズン最初の週にバービカン・センターからライブ配信される今回のコンサートでは、プロコフィエフの野心作ピアノ協奏曲第 2 番と、ブラックユーモアに満ちたショスタコーヴィチの交響曲第 9 番、そしてベートーヴェンの有名な交響曲第 5 番が披露されます。彼がソリストに抜擢したのは、ヨーロッパやアジア、アメリカのみならず、ロンドンでも大きなセンセーションを巻き起こしている若き韓国の名手、チョ・ソンジン。華麗なオーケストレーションと火花の散るような丁々発止の掛け合いにぜひご注目ください。

ソリスト:

チョ・ソンジン (ピアノ)

演奏:

ロンドン交響楽団

指揮:

アントニオ・パッパノー

曲目:

ドミトリ・ショスタコーヴィチ 交響曲第 9 番変ホ長調 op. 70

セルゲイ・プロコフィエフ ピアノ協奏曲第 2 番ト短調 op. 16

チョ・ソンジン(ピアノ)

モーリス・ラヴェル 《ボロディン風に》 M. 63/1

チョ・ソンジン(ピアノ)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 交響曲第 5 番ハ短調 op. 67



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。

また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力には ABS-7777 を適用しています。

ショスタコーヴィチの交響曲第 9 番は、ショスタコーヴィチらしいアップテンポの勇壮な表情が展開されます。

プロコフィエフのピアノ協奏曲第 2 番は、きらびやかな表情の曲に対して、鋭角的なチョ・ソンジンの力強い打鍵の演奏が聴きどころです。

ラヴェルの《ボロディン風に》は、アンコール曲で、静かに浸みる様な小品です。

ベートーヴェンの交響曲第 5 番は、パッパーノの指揮の下、ロンドン交響楽団のオーソドックスな演奏が聴けました。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ショスタコーヴィチとプロコフィエフの勇壮な色彩感、ラヴェルの小品の詩情、ベートーヴェンのオーソドックスな演奏などが描き分けられていました。

以上